

# 【 提 言 書 】

さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けて

令和4年1月21日

さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議

さぬき市まち・ひと・しごと創生本部

本部長 大 山 茂 樹 殿

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けて

さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議では、さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間（平成27年度から令和元年度）の満了を受けて、令和2年度より実施されている第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）に掲げた重要業績評価指標（以下「KPI」という。）の令和6年度の達成等に向け、関係部局に対する総合戦略の進捗状況調査の結果等について協議を行いました。

つきましては、当有識者会議における協議結果等を、次の意見を付して報告します。

貴職におかれましては、意見内容を踏まえた総合戦略の実施に努められるよう希望します。

さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議

座 長 長 山 貴 之

## 1 総括意見

### (1) 本年度の改訂に向けて

48項目のKPIの実績値等を検証した結果、本年度における重大かつ大幅な改訂要素はないように思われる。

ただし、KPIについて令和2年度実績値が既に令和6年度目標値を達成している指標について、特段の理由がない限りは、適宜、上方修正すること。

また、新しい視点で追加したい具体的施策や取組がある場合は、積極的に追加すること。

### (2) 令和4年度に向けて

さぬき市の人口減少は底を打っていない。住民基本台帳人口は、平成22年の53,865人から平成27年の51,526人へと4.3%減少し、令和2年には47,310人までさらに8.2%減少している。この急激な人口減少への対応こそが、さぬき市の喫緊の課題であり、総合戦略の目的も、この人口減少とそれに伴う社会構造の変化に対応することにある。

基本目標を達成することは、長く困難な道程であり、一朝一夕に達成できるとは思われない。新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度の実績が思うように達成できなかった指標もあるが、今後も新型コロナウイルス感染症の影響は避けられず、状況に応じた施策や指標等の見直しは適宜必要であり、DX化への対応、それぞれの立場における学びの場などを通じて知識、技術及び情報の共有を推進していくことが必要である。また、今後の状況が見通せず不確定要素も多々あるが、雇用の創出、移住・定住の促進及び市民の生活満足度の向上の実現に向けた取組が滞りなく進むことも重要である。本市の人口減少の現状に鑑みると、一刻の猶予も許されないことは事実であり、官民連携等を一層強化し、現状の課題に危機感を持って取り組むとともに、地方創生の実現に向けて更なる奮起を期待する。

## 2 基本目標別個別意見

### 基本目標1 「誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる」

#### ○具体的な施策「地域企業の競争力強化への支援」

K P I 「市が支援した企業の商品化・販路開拓成約件数（累計）」関係

- ・コロナ禍で業態やビジネスのあり方が変化している状況の中で、中小企業等振興支援事業補助金についても補助金のあり方や給付条件の見直しについて検討してはどうか。
- ・補助金メニューについては、地域の事業者と密接な関係にあり、事業者の事業内容や関心を持っている新規参入分野などもよくわかっている金融機関へも周知することにより、事業者にとって最適な補助金を探していく助けとなる可能性もある。金融機関や商工会なども巻き込んで事業者がよりよい選択肢を見つけることを後押しするような適切な情報の発信に取り組まれることを期待する。

#### ○具体的な施策「企業誘致の促進」

K P I 「企業立地件数」関係

- ・市有地への企業誘致にあたって企業が希望する条件に合致しないことは多々あるが、柔軟に対応する必要がある。また、市有地への企業誘致だけではなく、民間での売買成立による企業進出についても新規雇用が生まれることには変わりがないため、国の補助金である事業再構築補助金や市の支援制度である企業立地助成金制度などの情報も含めてさぬき市へ立地することの利点など、幅広くアピールされることを期待する。

#### ○具体的な施策「遊休農地活用の促進」

K P I 「遊休農地活用事業で再生した農地面積」関係

- ・農地活用に興味を持っているのは農家に限らない。ある事業をやめて農業へ転換する場合も、事業再構築補助金が活用できる。補助金の活用も念頭に入れ、農業に携わる人の意見も取り入れて遊休農地活用についてのアプローチの仕方を検討していくことを期待する。

#### ○具体的な施策「農林水産業における後継者育成の支援」

K P I 「認定農業者数」関係

K P I 「漁業協同組合員数」関係

- ・後継者不足、担い手の減少は大きな課題の一つである。一方、他の自治体においては、農業の若手生産者集団が、従来の農業に頼らない新しい農業や相互支援等で、生き生きと活躍している事例も見受けられる。若い農業者・漁業者の活躍をより広く発信していくことを検討してはどうか。

## 基本目標2 「さぬき市への人の流れをつくる」

### ○具体的な施策「若者世帯等の定住促進施策の推進（三世代同居等の奨励）」

K P I 「移住組数」 関係

### ○具体的な施策「住宅建築・購入・リフォーム支援施策の推進」

K P I 「住宅新築軒数」 関係

### ○具体的な施策「空き家の利活用推進と空き家リフォーム支援制度の継続」

K P I 「空き家バンク登録物件数」 関係

- ・文理大移転によるアパート・マンションの空室発生や地域の消費の落ち込みなどが危惧されている。今ある資源や環境をどのように生かしていくのかについて着実に検討が進んでいくことを期待する。
- ・単身アパートをファミリー向けアパートにリノベーションすることで移住・定住促進への契機とならないか。さぬき市でファミリー向けアパートへの入居を希望している人や移住・定住を考えている人たちの希望を叶えるとともに、アパート経営者にとっても文理大移転後の空室問題の解決の一助となるような支援策が展開されることを期待する。

### ○具体的な施策「移住ガイドツアーの実施」

K P I 「移住ガイドツアー参加者数」 関係

### ○具体的な施策「田舎暮らしの優位性をPRする取組の強化・推進」

K P I 「PR回数」 関係

### ○具体的な施策「都市部等の人材を活用した地域づくりの推進」

K P I 「都市部等の人材で継続して本市で活動する者の人数」 関係

- ・コロナ禍で「移住ガイドツアー」をリアルに実施するのは難しい状況であること、また、移住パンフレットを作成しても配布できない状況であること等理解できるが、首都圏を脱出する移住者数はコロナ禍で伸び続けている。利用する側の利便性も考えたうえで、これまで以上に、オンラインやHPの活用がなされることを期待する。

## 基本目標3 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

### ○具体的な施策「出産の希望をかなえ、子育ての不安を解消する取組の推進」

K P I 「特定不妊治療費助成件数」 関係

K P I 「パパママ教室の参加者数」 関係

### ○具体的な施策「安心して子育てできる環境づくりの推進」

K P I 「子育て支援アプリ登録者数」 関係

- ・住みやすい街と言われている自治体は生活している人たちが口コミでアピールしているからだ。行政は、安心してさぬき市で子育てができるという声をもっ

とアピールすべきだ。実際に子育てをしている世代の声を聴くことが重要であり、効果的なアピールがなされることを期待する。

- ・結婚・出産にあたっては子育てがやりやすいかを考えるので、子育てを最重要課題として検討するとともに、働く母親のサポート等も考慮した支援にも積極的に取り組まれることを期待する。

#### 基本目標4 「生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる」

##### ○具体的な施策「周産期医療の充実」

K P I 「分べん件数・紹介件数」関係

- ・さぬき市民病院で出産が出来ないということは、さぬき市及びさぬき市周辺の人が産みづらくなるだけでなく、里帰り出産もしにくくなるということであり、二重に地域の医療のニーズを満たせない状況である。さぬき市民病院における周産期医療の充実は重要であり、産婦人科医2名体制の早期実現が望まれる。

##### ○具体的な施策「大川地区小児夜間急病診察室の継続」

K P I 「利用者数（※大川地区小児夜間急病診察室）」関係

##### ○具体的な施策「救急医療における提供体制の維持」

K P I 「救急患者受入人数（小児夜間急病診察室患者を除く）」関係

- ・さぬき市民病院は、地域における基幹的な公立病院として地域医療の確保のために重要な役割を果たしているが、長く続いている医師不足に市民は不便を感じており、医師育成も含めて抜本的な改革に取り組んでもらいたい。

##### ○具体的な施策「目的に応じて選択できる公共交通の推進」

K P I 「公共交通網の充実に対する市民満足度」関係

- ・高齢者の免許返納は、地域の移動手手段の充実に関係している。コロナ禍での外出控え等で「推進」に歯止めがかからないよう、コロナからの社会活動の回復を見込んで、公共交通の推進が継続されるよう期待する。

### 3 さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略K P I 達成状況調査結果

別冊のとおりとする。

### 4 協議経過

#### ○令和3年度第1回まち・ひと・しごと創生有識者会議

開催日：令和3年8月19日（木）

議 事：（1）第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略K P I 達成状況について  
（2）今後のスケジュールについて

#### ○令和3年度第2回まち・ひと・しごと創生有識者会議

開催日：令和3年12月21日（火）

議 事：（1）提言書「さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けて」案について

## 5 さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿

	氏名	所属等
座長	長山 貴之	香川大学経済学部教授 学部長（学校）
副座長	尾崎 勝	さぬき市商工会 会長（産業）
	井出 哲夫	全国労働者共済生活協同組合連合会香川推進本部 本部長 元自治労香川県本部中央執行委員長（労働）
	大塚 ノブ子	さぬき市農業委員会 委員（産業）
	岡 裕子	志度まちぶら探検隊事務局（地域）
	金江 ちひろ	元東讃地域農ガール代表（地域）
	小池 よう子	食農ライター（言論）
	山崎 和彦	百十四銀行株式会社志度支店兼津田支店 支店長 （金融）

50音順（座長・副座長除く）、敬称略